



きよくり news

CONTENTS

- ・ HPV ワクチン情報
- ・ 健康相談室をご活用ください
- ・ 新スタッフ紹介



Muraguchi Kiyokuri Women's Clinic

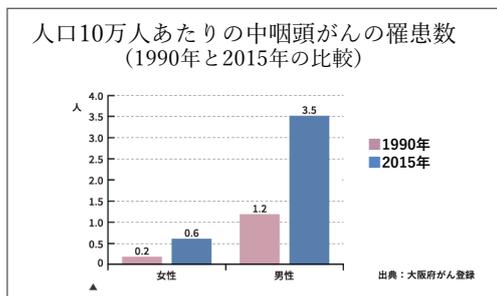
HPV ワクチン情報

院長 村口 喜代

キャッチアップ接種の対象期限が迫っています この好機を逃さず、ぜひ接種してください

2020年10月、子宮頸がん予防ワクチンの定期接種が再開しました。「積極的勧奨の一時停止」により、接種機会を逃した方に対して、公平な接種機会を確保するため、公費助成による「キャッチアップ接種」が2022年4月から開始されました。その期限は2025年3月までです。3回の接種が必要ですので、1回目の接種開始を今年の9月までに済ませなければなりません。

“男女ともに HPV ワクチン接種を” 多くの先進国では主流



独自に助成を行っている自治体

自治体	対象年齢	助成額
青森県平川市	12~25歳	1回あたり ¥16,775まで
北海道余市町	小学6年~H9/4/2生まれ	指定の病院のみ 全額
千葉県いすみ市	小学6年~高校1年生	指定の病院のみ 全額
東京都中野区 (今年8月~)	小学6年~高校1年生	1回あたり 約¥17,000まで

出典：NHKみんなのプラス「HPVワクチンなぜ男性にも有効？」HPより

HPVは性交渉により誰もが感染する可能性のあるウイルスです。男性では、感染が持続することで、中咽頭がん（のどのがん）陰茎がん、肛門がんや、尖圭コンジローマを引き起こします。このところ、アメリカでは子宮頸がんよりも男性の中咽頭がんの罹患数のほうが多くなったとの問題が噴出しています。日本でも中咽頭がんは男女ともに増加しており、特に男性では急増加しています。

HPVワクチン接種は、女性の子宮頸がんを予防するために止まらず、「男性自身のHPV関連がんを予防する」との観点から、男女すべての人を対象に、性交を経験する前の定期接種として実施されなければと思います。人として安心できる性行動を保証する社会をめざさなければなりません。

WHOによると、男性にも定期接種が行われている国は39か国に上っており、イギリスやオーストラリアでは男女ともに接種率が9割を超えているとのことです。

日本でも独自に一部の自治体が助成を始めています。ようやく国の審議会でも男性の定期接種に関する議論が始まっていますが、現在検討に必要なデータをまとめているところとのことです。男性の定期接種も早期に実現することを切望します。

HPV 関連がんは、ワクチン接種で撲滅できます

ワクチン接種で防げることが明らかになっているのですから、公的支援の拡充を切に願います。人間にとって性行動は、当たり前生きる日々の証なのですから・・・。

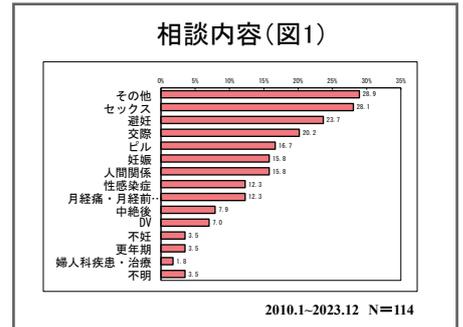
無料健康相談室をご活用ください

患者情報管理 柴田泰子

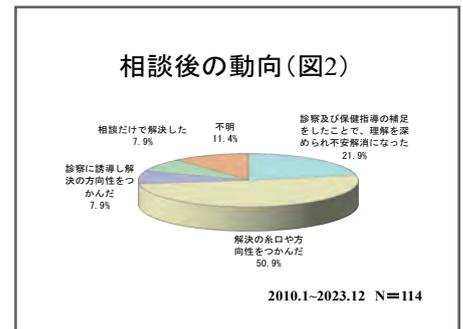
当院では、2004年から「からだと性の健康相談室」（相談室）を開設し、看護師が、個別に話を伺う相談事業を行っています（無料）。きっかけは、厚生労働省から「妊娠について悩んでいる者に対する相談援助等事業」の委託を受けたことでした。当時、意図しない妊娠に悩む女性が全国的にも多く、そのサポート体制を整えていくことは大きな課題でした。当院の中絶件数もかなり多く、術後のケアや避妊指導などに力を入れていましたが、その後、時代は大きく変わり2023年中絶件数はピーク時の5.2%にまで激減しました。それに伴い妊娠以外の相談も多くなり、委託事業が終了した2010年以降も相談室を継続しています。

今回、2010～2023年の相談室利用状況を集計しましたので報告します。

当初は「妊娠について悩んでいる者に対する相談援助事業」として始まった相談室でしたが、2010年以降は、中絶後の相談は7.0%に止まり、約9割はそれ以外のご相談でした。利用者の年代は10代と20代がそれぞれ約4分の1を占めており、一番多いのが30代で35.1%でした。相談内容は多岐にわたり、夫婦関係、娘のこと、イライラ、メンタルの問題など、当初設定していた項目以外の「その他」が多く、次いで「セックス」28.1%、「避妊」23.7%、「交際」20.2%、「ピル」16.7%となっています。（図1）



相談室を利用したことで、「解決の糸口や方向性をつかんだ」方が50.9%と半数を占め、「診察及び保健指導の補足を受けたことで、理解を深められ不安解消につながった」方は21.9%でした（図2）。利用後のアンケートでは、問題が解決したと「大変そう思う」と答えた方は61.4%、「そう思う」方が13.2%であり、当初の問題を超えて「新たな問題意識を持った」と答えた方が46.5%を占めました。



相談者の多くは、誰かに話を聞いてほしいと思っており、話すことで気持ちの整理がついたり、専門職である看護師から知識の提供を受けることで、いろいろな選択肢があることに気づいたりします。ぜひ健康相談室をご活用ください。

新スタッフ紹介



助産師 和田俊美

2024年3月から仲間入りしました。これまで主に総合病院の産婦人科の病棟と外来に勤務しておりました。7年ぶりの婦人科復帰です。

「女性にやさしく、女性が元気になれるクリニック」の一員として、皆様の心と身体が健やかでいられますようにお手伝いできればと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

臨時休診

- GWの診療は、カレンダー通りとなります

編集後記

春の陽射しが心地よく、桜に心躍る季節となりました。
春夏秋冬のある日本で、毎年この幸せを感じることができることに感謝です ☺

